

平成17年10月12日

# 京都府立大学農学部

## 附属農場情報



### 今年もカヤネズミが農場水田に球巣を作りました

京都府レッドデータブックにも挙げられ、生息数の減少が危惧されているカヤネズミが稲刈り前の水を落とした水田に今年も営巣しました。カヤネズミはイネ科などの生きた草を利用して球形の巣を作って子育てをします。周辺のススキ草原等で生活していたものが水を落とした水田に移動してきたと思われます。農場周辺の里山にはまだ多くの野生生物が保全されていることの証と考えられます。